

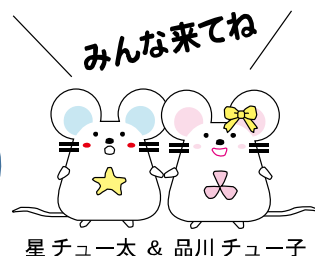
# 第3回 星薬科大学 実験科学教室

星薬科大学主催  
品川区後援  
品川区教育委員会後援  
大田区教育委員会後援

2016. 8. 25. (木) 各研究室で実験！  
2016. 8. 26. (金) 研究発表会と授賞式！

参加者募集、参加無料！！  
参加賞贈呈！！

参加者  
募集！



## 第3回 星薬科大学実験科学教室参加者募集について

小・中学生の皆さんに、科学の楽しさ、おもしろさを知っていただきたいという願いから、実験科学教室を開催いたします。8月25日(木)、星薬科大学の各研究室でそれぞれ特色のある実験に取り組み、その研究成果を8月26日(金)の研究発表会において、パワーポイントを使用して発表します。各研究室5名程度の小学生5、6年生、中学生で実験をおこないます。それぞれ十分に理解できるように、教授をはじめとした研究スタッフ、そして大学院生や星薬生たちが、科学実験と研究発表を指導いたします！ 参加は無料です！ 参加賞を贈呈します！

○実験科学教室：2016年8月25日(木) 10:00 ~ 17時ごろまでを予定

開催場所：星薬科大学 各研究室

○発表準備と発表会、表彰式：2016年8月26日(金) 10時ごろ ~ 16時ぐらいを予定

午前中：パワーポイントでスライド作成、午後：研究発表会、修了証および参加賞授与式

開催場所：星薬科大学 講義室

○対象：小学5年生、6年生、中学生（実験科学教室と研究発表会に参加できる方。）

○募集人員：各研究室5名

○申し込み方法：学校名、参加生徒名（ふりがな）、学年、実験を希望する研究室名を第2希望まで記入し、7月25日(月)までにメールで（FAXも可）お申込みください。（希望者多数の場合は抽選）

○申し込み先：e-mail：[k-sugita@hoshi.ac.jp](mailto:k-sugita@hoshi.ac.jp)、FAX：03-5498-5791

薬品製造化学教室 教授 杉田和幸 まで

○問い合わせ先：薬品製造化学教室 教授 杉田和幸

e-mail：[k-sugita@hoshi.ac.jp](mailto:k-sugita@hoshi.ac.jp)、TEL：03-5498-5791

## 各研究室の実験内容と集合時間、終了時間の紹介

本年度実験科学教室を開催する研究室は以下の4研究室です。

ほぼ終日なので、両日ともお弁当をご持参ください。

参加無料！  
参加賞贈呈！

### ① 薬剤学教室（やくざいがく きょうしつ）

実験テーマ「溶ける錠剤、溶けない錠剤、何が違うの？」

募集人数：5名程度

度

実験日時：8月25日(木) 10:00 研究室に集合、17時ごろ解散

みなさんは病気になったとき、お薬を飲みますよね？よく知っているお薬には、錠剤の形をしているものがたくさんあるでしょう。さて、錠剤は何からできているか知っていますか？実は、病気を直接治すお薬以外に、錠剤をきれいな形にする成分や、持ち運んだときに簡単に壊れてしまわないようにする成分などいろいろなものが入っています。これらの成分の混ぜ具合を変えて、錠剤の溶け方の違いを見てみましょう！

### ② 医療薬剤学教室（いりょうやくざいがく きょうしつ）

実験テーマ「ゼリーが固まるのはなぜ？」

募集人数：5名程度

実験日時：8月25日(木) 10:00 研究室に集合、17時ごろ解散

ゼリーはどうして固まるのでしょうか。温めると液体で、冷やすと固くなるゼリーもありますが、冷やさなくても固まるゼリーがあります。ゼリーが固まる仕組みについて調べてみましょう。また、ゼリーの形をしたお薬があります。ゼリーの形をしたお薬が、どのような病気の人に使われるのか、調べてみましょう！

### ③ 生薬学教室（しょうやくがく きょうしつ）

実験テーマ「葉脈標本を作ろう！」

募集人数：5名程度

実験日時：8月25日(木) 10:00 研究室に集合、17時ごろ解散

植物の葉は主に、表皮・葉肉・葉脈からなり、それらの薬品に対する強さは異なります。いろいろな葉っぱに薬品を作用させ、葉脈だけを取り出し、「葉脈標本」を作るとともに、植物の構造について学びましょう！

### ④ 薬品製造化学教室（やくひんせいぞうがく きょうしつ）

実験テーマ「のぞいてみよう、化学の世界！」

募集人数：5名程度

実験日時：8月25日(木) 10:00 研究室に集合、17時ごろ解散

医薬品は、構成する原子の種類とその結合のしかたの違いによって、固有の性質を示します。化合物を化学反応させ、薬理活性を示す新規物質を合成するのが創薬化学研究です。今回はその基礎となる合成反応を自分の手で行い、化学合成を体験します。また、液体のpHの変化に対応して化学構造が変化し、様々な色を示すアントシアニンを使った実験を含め、いくつかの実験を行う予定です。驚きいっぱいの化学の世界をのぞいてみませんか！